

ELLE  
www.elle.com/jp

ELLE®

新木優子&Cocomi  
オートクチュールを初体験

「一生もののジャケット」を  
買う理由

ミニもローライズも攻略!  
ボトム革命2022

波乱万丈な  
あのセレブは、今?!

やっぱり素敵です!  
パリジェンヌの部屋

生理こそ  
「きれい」のバロメーター!

グルメなギフトで  
ときめきを贈る

4

エル・ジャポン  
APRIL 2022

Elle  
MEN

横浜流星

MOVIE  
Special

映画が教えてくれること



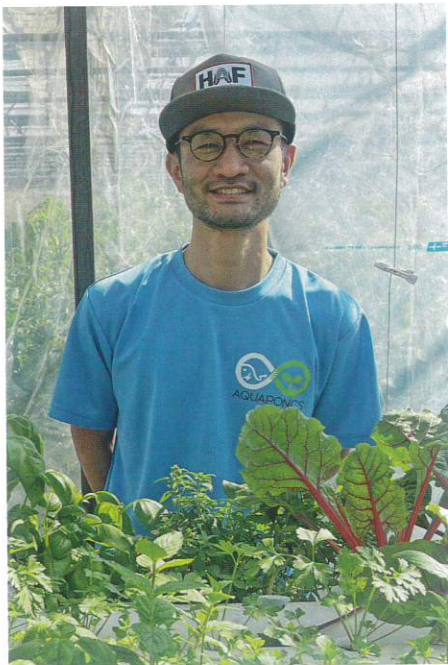
Magazine Cloud  
電子版でも読めます



2

魚と野菜を一緒に育てる  
「アクアポニックス」が  
切り拓く未来とは？

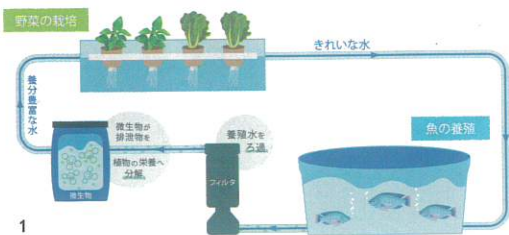
濱田健吾  
アクボニ代表取締役



PROFILE

外資系企業などを経て2014年「アクアポニックス」に魅了され、アクボニ創業。2015年、「アクアポニックス・アカデミー」開講。2017～2019年渡米。これまでに100件以上の企業、農家、個人へのアクアポニックス導入を支援してきた。アグリイノベーション大学校卒業。

1 水槽の水を微生物によって分解して使用するので、おいしいオーガニック野菜が育ち、魚にも安全な水が循環する。生態系そのものを体験できるのが「アクアポニックス」。2 このプランターではハーブを栽培。3 アクボニの楽しさに子どもたちも大興奮。神奈川県にある農場は曜日、時間限定で見学も可能。



これを日本で広めようとしているのがアクボニの濱田健吾さん。そもそもペランダ菜園で野菜を育てていたのがきっかけだそう。「魚釣りも趣味だったためいろいろ調べているうちに、アマゾンの養殖場で飼育水を隣の畑の肥料に使っていると聞いて、面白いと思って」。そこで出会ったのがアクアポニックス。海外のネット記事を検索し、自作でキットを作ったこと

も増えたものの、大規模な仕組みを作るには知識も技術も追いついていなかった濱田さん。渡米し、現地の農場や大学で学ぶことに。「最新の技術や知識を身につけたことはもちろん価値がありました。それよりもアクアポニックスの意義と可能性を体感したのが大きな収穫でした。世界から学びにきている方の多くは途上国の方で、乾燥地帯や離島で水不足の中、農作物のほとんどを輸入に頼っていた

既存事業との掛け合わせで  
可能性が広がる

現在は企業向けに「アクボニハウス」という5㎡×100㎡まで数サイズで展開するパッケージも販売。導入企業の多くは農業未経験の会社の新規事業で、SDGsの広まりと共に、企業の意識の急激な変化を感じているという。「工場の排熱や遊休地を活用して環境にも良いことをしよう」と取り組み始めた企業もあり、既存の事業との掛け合わせ次第でさまざまな可能性が生まれます。飲食

環境にやさしい、無農薬で食

べる人にもやさしい、都市型農業として地産地消が可能、生産者の方にもやさしい、そしてインターテイメントにも教育にも役立てられる……と可能性に満ちたアクアポニックス。「魚が泳いでそのフンが野菜を育てる、という自然の循環を目の当たりにできる機会は滅多にありません。こういう自然のリアルな姿を見ることが、いろんな社会課題への気づき、人や社会にやさしい気持ちを持つ第一歩なのではないでしょうか」



オーガニック野菜や地産地消など、毎日の野菜選びで環境や健康を意識する人も増えたこの頃。その新しい形として注目したいのが「アクアポニックス」。水産養殖(アクアカルチャー)と水耕栽培(ハイドロポニックス)を合わせた言葉で、水槽で育てる魚のフンによる栄養分を肥料として水栽培の野菜を育てることで、農薬や多くの水を使うことなく生態系の循環が完成する仕組みだ。

「近所の幼稚園にもプレゼントしたところすごく喜ばれたんです。そこで海外の記事を翻訳してブログにアップしているうちにいろんな方からの要望を受けて、テキストやキットを作ったり学校を作ったりしました」

「近所の幼稚園にもプレゼントしたところすごく喜ばれたんです。そこで海外の記事を翻訳してブログにアップしているうちにいろんな方からの要望を受けて、テキストやキットを作ったり学校を作ったりしました」

「近所の幼稚園にもプレゼントしたところすごく喜ばれたんです。そこで海外の記事を翻訳してブログにアップしているうちにいろんな方からの要望を受けて、テキストやキットを作ったり学校を作ったりしました」